

いいまちづくり 観音寺輝き隊通信

令和七年六月一日 発行

文責：大西
編集：白川

【琴弾公園の今昔物語⑤】

《小沢圭次郎》

琴弾公園の開園125周年を記念した展示会が昨年開かれ、**【琴弾公園の開設に貢献した人たち】**が紹介されました。その中に小沢圭次郎も挙げられています。明治30年12月に琴弾山と有明浜が県立公園として認可され、内務省園芸技師であった小沢圭次郎は当時の徳久県知事から公園設計を依頼されました。



小沢圭次郎

◆公園清掃日について◆

今月の清掃日は**6月2日**です。
午前八時～九時（雨天：6月9日）

琴弾公園の池付近に集合
みんなでいい汗を流しましょう。
※問い合わせ080-3211-1962

【琴弾公園クイズ74】

毎年4月頃琴弾山の山すそに一面に咲く可愛い黄色の花は何でしょう？

- ①カタバミ
- ②ハハコグサ
- ③キンポウゲ



八幡宮にお参りし、象が鼻の岩の連なりに立ち、海上の風光を広く眺め、『見るすばらしさは聞くすばらしさよりはるかに優る』と何日も現場を歩き回って図案・図説意見を草案としてまとめました。これをもとにした設計により現在の琴弾公園が出来上がりました。小沢圭次郎は江戸築地で生まれ、日本造園史の研究を続け、膨大な園林叢書を編纂しました。一方で、伊勢神宮やロンドン日英博物館庭園設計などを手がけ各地で業績を残しています。昭和7年に91歳で天寿を全うしました。



「18歳と81歳のちがい」というフレーズをよく耳にします。元ネタは『笑点』だという事です。

『ドキドキが止まらないのが18歳、動悸が止まらないのが81歳。』
『恋で胸を詰まらせる18歳、餅で喉を詰まらせる81歳。』
『心がもろいのが18歳、骨がもろいのが81歳。』
『人の言う事を聞かないのが18歳、人の言う事が聞こえないのが81歳。』

ケラケラ笑いながら聞いているけれども、ふと気がついて「他人事じゃないかも！」：体が少しづつ老いて行くことには逆らえませんが、心は固くならず、いつまでも柔軟でありたいものです。目指せ、かわいいおばあちゃん。

◆いいまちづくり 観音寺輝き隊◆

私たちは「琴弾公園の魅力を高めること」を主な目的にしている小さな団体です。歴史的なものを見直し郷土愛を高め、まちをもっと元気にしようと頑張っています。

『輝き隊通信バックナンバー』と検索または下のQRコードからこの通信のバックナンバーを見ることが出来ます。また観音寺市のホームページからも輝き隊通信は閲覧できます。



https://kagayakitai.amebaownd.com/